

江南署管内 交通安全

かわら版

交通安全に関する 情報発信

平成29年8月20日 NO.56  
江南警察署  
江南市  
岩倉市  
大口町  
江南自動車学校

炎天下の駐車は危険！ 夏場の車利用で気を付けたいポイント！

国民生活センターの調査によると、炎天下に車を放置した場合、車内温度は60.3℃、ダッシュボードに至っては86.7℃まで上昇しました。車内温度の上昇は、外気温の上昇に比例すると思われがちですが、実は日射量の増加とともに高まります。そのため、午前中の涼しい時間帯でもダッシュボードの温度は75℃以上あり、炎天下に放置した場合の86.7℃よりは低いものの、十分に危険な温度となります。また、シートベルトの金具部分の温度では最高で66.5℃となるなど、思わぬところで子供がヤケドを負う事例も報告されています。



特集 自転車と自動車の出会い頭事故  
～見通しの悪い交差点における自転車の飛び出しに注意～

平成28年における自転車乗車中の事故は全国で約10万件あり、交通事故全体に占める割合も約2割と高く、自転車事故対策の重要性が問われています。そこで、今回は自転車事故の分析結果を把握し、安全な自転車利用をしましょう。

◆ 出会い頭事故はどんな道路で起きている？



自動車の通行区分が無く、かつ自転車の通行帯が車道の場合の構成割合が最も高く、全体の半分弱を占めており、片側1車線以内までを含めると全体の8割超を占めます。歩道が無く、かつ自動車の通行区分無しといった道路は、一般に道幅が狭く、また信号機や標識などの整備が行き届いていない箇所も多く、さらに、そのような場所には住宅密集地も多く、見通しが悪くなりがちなことあり、構成割合が高くなることが推測されます。

◆ 自転車と自動車、ルールを守っていないのはどちら？



自転車と自動車の優先に関しては、自動車優先の割合は約7割、自転車優先が約1割、優先・非優先の判別ができないものが約2割でした。（優先・非優先の判別は、信号遵守の有無、一時停止標識の有無、道路幅による優先等を基に集計）今回、対象とした事故においては、自転車の多くが交通規則を遵守できていないと推測されます。とくに、自転車側に多い若年者の中には、自転車も車両であることを熟知していないか、仮に知っていたとしても違反に問われることがなかったため、自分本位の解釈で走行してしまったケースが考えられます。従って、自転車は「車のなかま」であることを自覚し、安全な自転車利用を心掛けましょう。



目指そう・事故ゼロ  
～安全で快適な交通社会をめざしましょう～

江南市  
岩倉市  
大口町

平成29年交通安全年間スローガン「ペダルこぐ 免許ないけど ドライバー」皆さんの心がけて交通事故ゼロは実現できます。